

ネクスト・イット・パートナー各位



ネクスト・イット・パートナー・アップデート第05号

2010/12/21

いつもお世話になっております。  
ネクスト・イットの吉政でございます。

いよいよ今年最後のメルマガになりました。本年も大変お世話になりました。  
来年も引き続き、宜しくお願いいたします！

最後のメルマガは来年1月に開催する標記二つのセミナーで行う、技術解説についてお伝えします。

仮想UTMセミナーはお客様が来なくなるまで続けようということで始めたのですが

、気がつけば次回で9回になります。Open-Xchangeは次回で4回です。ただ、両製品の技術解説についてはまだ行っていませんでした。

今回はその技術解説のご案内になります。

まだ、AstaroとOpen-Xchangeの技術解説をお聞きになったことがない方は、是非、この機会にお申し込みください。

それでは、今号も宜しくお願いいたします！

## —目次—

### 【1】【セミナー関連】

2010年11月24日開催（無料）

仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

2010年11月25日開催（無料）

エンタープライズ・クラウド コンピューティング用  
グループウェア「Open-Xchange」のご紹介

### 【2】【戦略コラム】

第七回：2010年を振り返って

## —詳細と解説—

### （【1】セミナー関連）

2011年1月14日開催（無料） ※技術解説あり

[第四回]データセンタ クラウド・グループウェア・ソリューションセミナー

急速に発展するクラウドコンピューティング、モバイル化時代への対応策として、社内情報伝達の確実性、共同作業最小限のツール整備が急務となりつつあります。Open-Xchangeは、企業が最小限必要としているメール機能、ドキュメント共有等を一括に、スムーズにて簡単にコストパフォーマンスを実現したグループウェアです。

このセミナーでは、Open-Xchangeの効果的な運用方法を、技術解説やデモンストレーションやQ&Aセッションを交えてご説明します。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/ox0114.html>

= = = = =

2011年1月19日開催（無料） ※技術解説あり

[第九回]

仮想環境におけるネットワークセキュリティ検討時の要点解説セミナー

ページ(1)

---

クラウド・コンピューティングは、規模の経済や標準化といったメリットを提供しますが、その反面、セキュリティ上の課題があると言われております。そこでネクスト・イットでは、近年注目を集めているCSAのクラウド・セキュリティ・ガイドラインや経済産業省のBCPガイドラインについて解説を行うとともに、スパム対策で圧倒的な評価を得ている統合型セキュリティゲートウェイ製品である、Astaro Security Gateway (アスタロー セキュリティ ゲートウェイ) のクラウド環境での活用方法とセキュリティ上の注意点及び最新鋭の実践的な技術を解説させていただきます。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/astaroVA0119.html>

---

## 【2】 戦略コラム

---

### 【第七回】 2010年を振り返って

---

2010年はAstaroとOpen-Xchangeを大きく打ち出した一年でした。両製品合わせて、9本の報道発表を配信しました。

その結果、報道発表の掲載結果やWebからのお問い合わせ件数も依然と比較して大幅に伸ばすことができました。(お問い合わせ件数は20倍以上に伸びています)

これには両製品にとって決定的な差別化要素があったからこそこまでの効果を出すことができたと推測しています。

Astaroについて：  
仮想環境化が進む中、仮想環境上で進むUTMがほとんど存在していなく、事実上、ほぼ独占的な状態であるため。  
(競合はハードアプライアンスの物ばかりです)

他社が機能の追加開発によってUTM化されてきたのに対して、最初からUTMとして設計されているため、管理等の一体感があり、UTMとして使いやすい。

特にIaaSベンダーなどでは、仮想環境上で動作するUTMであれば、お客様毎にハードアプライアンスUTMを用意する必要がなくなるため、コスト面でもカットオーバーまでの時間も含めて短縮できるため、非常に有効な製品であると言えます。

Open-Xchangeについて：  
機能面だけではなく、価格も含めて、最初からクラウド用に設計された製品であることから、様々なクラウドのサービスに違和感なく採用されやすい。

価格面では、クラウドベンダーのリスクである、サービス立ち上げ時のコストを軽減するべく、クラウド用の価格を用意している点。

世界的に普及している唯一のオープンソース・グループウェアである点。

両製品の共通のターゲットはクラウドベンダーになります。コストとサービスにシビアなお客様であれば、非常に有効であると考えます。

両製品とも1月もセミナーを開催しますし、評価機もしくは評価サイトを提供できますので、是非、お試しください。

(吉政 忠志)

---

## 編 | 集 | 後 | 記 |

---

来年は久しぶりにCDP (バックアップの技術: 継続的データ保護) についてのプレゼンテーションを行います。私が好きな分野でもあるので、今から楽しみにしています。BCPガイドラインとCDPの事例で1時間ほど話す予定です。ご興味がある方は、是非ご参加ください。それでは、皆さま、良いお年をお迎えください。  
ページ(2)

ださい。(吉政)

—◇パートナーの皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

ネクスト・イットでは、お客様事例を募集しております。事例にご協力いただきましたパートナー様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載させて頂き、皆様のビジネスの露出度向上に貢献をさせていただきたいと考えております。お気軽に弊社担当までお申し付けください。

その他、下記の件などもお気軽にお申し付けください。

- ・弊社カタログの補充ご依頼
- ・営業同行・デモンストレーションのご依頼
- ・弊社会社ロゴの提供(貴社カタログやホームページにご掲載ください)
- ・デモのご依頼 などなど 皆様の販売促進のお手伝いをさせていただきます。

本メールマガジンは弊社製品の販売促進を目的としており、弊社製品のパートナー様やお取り扱いを検討いただいている企業様にのみ配信しております。よって、弊社の事業計画などの機密事項が含まれる場合もございますので、**★社外への転送★はご遠慮ください。**

=====

メール配信元：ネクスト・イット株式会社 「ネクスト・イットNEWS」編集部  
発行人：営業推進本部 谷尾 真人  
編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志  
東京都品川区南品川2-4-5NAビル TEL:03-5783-0702 FAX:03-5783-0734  
URL:<http://nextit.jp/> MAIL: [info@nextit.jp](mailto:info@nextit.jp)

=====

※今後、弊社からのご案内が不要の場合は、誠に恐れ入りますがこのメールの返信で『ご案内メール不要』のご連絡をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

===== (C) Next IT Inc., All Rights Reserved =====